



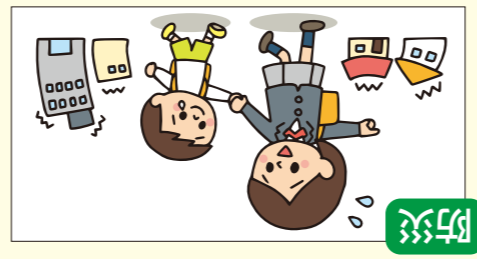
答えはこちらから

山や崖、川や水路には

・地震が起ったら

・大雨が降ったら

場所に身を寄せる



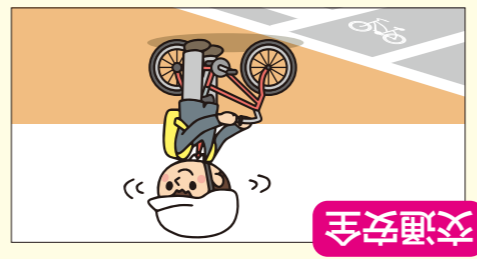
防災

①すぐに
②大きな声で
③必ず警察に通報し、学校にも連絡する。



防犯

知らない人がついてきたり、連れていかれそうになったら
誰かが入りやすく、誰からも見えにくい場所には
※自転車は「車の仲間」です。自分が「加害者」とならないように、
なるとか、日頃から考えておこう。
を忘れないために、こういう場面で自分の行動が危険なもの
歩いているときだけでなく、自転車に乗っているときも



交通安全

どうすれば安全に登校(生活)できるかな?

3 自分の安全を守る方法を身に付けよう!

防災 例えば... 地震や大雨が発生したときに、状況が変わりやすい場所

防犯 例えば... 誰もが入りやすく、誰からも見えにくい場所

交通安全 例えば... 「飛び出し」が発生しやすい場所

1 校区の危険箇所を知ろう 校区安全マップの使い方

どんな危険があるのかな?

考えてみよう! ~中学生のみなさんへ~

避難所は、災害発生時に自宅で生活できなくなった被災者が一定期間過ごすための場所です。避難所での生活は普段の生活とは大きく異なり、さまざまな制限を受け入れて生活しなくてはなりません。そのため、ルールを守り、役割分担をして助け合うことが大切です。避難所生活の様子について考えてみましょう。

Q1. あなたの避難所はどこですか。
Q2. 災害発生時、避難所への避難が必要なのはどのような状況のときでしょうか。
Q3. 普段の生活と避難所での生活を比べてみましょう。

Table with 2 columns: 普段の生活, 避難所での生活. Rows: 食事, 睡眠, 衛生面.

(衛生面...トイレ、お風呂、ゴミの処理など)

セーフティボランティアさん 通学路や校門のちかくで、みんなが安全に学校に通えるよう見守ってくれています。緑のベストや腕章が目印だよ。

「こども見守り中」の旗 みんなを見守ってくれている人が、街中にいることを知らせてくれています。たくさんの人に旗を掲示してもらえたら、地域の安全安心にもつながるね。



校区安全マップ 高槻市立第七中学校



第七中学校

2 自分の校区を確認しよう



11 交通安全

見通しが悪く、バイクや車の交通量が多い。

10 交通安全

特に朝の時間は右折左折のバイク、車、トラックなどの交通量が多く、注意が必要。

12 交通安全

近くに大きなトラックがとまる駐車場があり、交通量も多いので注意が必要。

13 交通安全

交通量が多く、視界がせまく注意が必要。

14 交通安全

歩道橋を渡りましょう。

15 防災

田んぼなどの農業用水路になっており、天候に関係なく水量が多い時があります。絶対に入ってはいけません。

16 交通安全

交通量が多く、直線道路でスピードを出している車やバイクが多い。

1 交通安全

車の交通量が多く注意が必要。用水路横のせまい道路。バイク・自転車も通行するため注意。

2 交通安全

人通りが少なく、不審者が出没しやすい。

3 防犯

周辺の見通しも悪く、一人で歩く時には注意が必要。

4 交通安全

新幹線下道路抜け道のため、交通量が多くスピードを出す車も多いので注意が必要。

7 交通安全

道路沿い倉庫が多く、倉庫に出入りするトラック等も多い。登下校の際、注意が必要。

5 防犯
防災

田んぼ地帯が多く、トラブル時、逃げ込んだり避難する場所がない。

8 交通安全

西面の交差点。交通量が多く、トラック等の大型車の交通量も多いため注意が必要。

9 防犯

人通りが少なく、一人で歩く時には注意が必要。

6 交通安全

通学路と直交している車道。やや登りで、車がスピードを上げて通行するので注意が必要。

X	交番
〒	郵便局

地震発生時の避難場所 ()